

多摩の博物館さんぽ

出かけてみよう！
多摩の博物館。

催し物案内

2006年 春・夏号



1 奥多摩水と緑のふれあい館：水源地の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

住所	西多摩郡奥多摩町原 5	開館時間	9:30 ~ 17:00	奥多摩の豊かな自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介しながら、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく行なっている。 ●春のミニコンサート (4.22 ~ 23 予定) ●奥多摩水源地郷土芸能フェスティバル「鹿島踊・獅子舞」(9月予定) 【URL】 http://www.okutama.gr.jp/
交通	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車徒歩1分	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.4	
電話	0428-86-2731	入館料	無料	

2 檜原村郷土資料館：数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。

住所	西多摩郡檜原村 3221	開館時間	9:30 ~ 17:00 (12月~3月は 10:00 ~ 16:00)	当館では、「自然と観光」「歴史と民俗」の二つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具や兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが常設されています。 また、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然と歴史を紹介するDVD放映が常時可能となっています。 ●常設展「村の自然」と「村の歴史民俗」 ●特別展「夏休み昆虫展」「おしぼな展」(7.20 ~ 8.31) 村に生息していた昆虫の標本と草木の標本を展示し、自然のすばらしさを感じていただきます。 【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan_top.htm
交通	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から小岩行きか藤倉行きバス「資料館前」下車	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	
電話	042-598-0880	入館料	無料	

3 御岳美術館：明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。

住所	青梅市御岳本町 1-1	開館時間	10:00 ~ 16:30 (11月~3月 は 16:00 まで)	●常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 ●企画展示「近代美術の流れ—明治期の絵画展」(3.5 ~ 9月) ●倉田三郎記念室「旅の素描 旧ソ連・チェコスロバキアを描く」 ●スケッチの日 御岳美術館開館記念日(4.11 ~ 4.13) 倉田三郎生誕記念日(8.19 ~ 21) 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント！ 【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html
交通	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 18 分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	
電話	0428-78-8814	入館料	一般 500 円 高大生 400 円 小中生 300 円	

4 青梅市郷土博物館 ：青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。			
住所	青梅市駒木町 1-684	開館時間	9:00～17:00
交通	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 12 分	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3
電話	0428-23-6859	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●「市民収蔵鉄道（青梅線）資料展」（～4.9）市民所蔵の鉄道（青梅線）に関する資料を展示します。 ●「新収蔵品展」（4.18～6.30）平成 16 年度に新たに収蔵した資料を展示します。 ●「収蔵品展」（4.18～10.1）当館所蔵の資料を展示します。会期中数回展示替えを行います。 ●「通年展示「郷土のあゆみ展」」館蔵品の中から青梅地域の自然や歴史、産業に関する資料を展示します。 【URL】 http://www.ome-kyo.ed.jp/institution/craftmuseum.htm			

5 あきる野市五日市郷土館 ：五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。			
住所	あきる野市五日市 920-1	開館時間	9:30～16:30
交通	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分	休館日	火、水曜日、祝日（水曜日が祝日の場合は翌日も）
電話	042-596-4069	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●旧市倉家住宅年中行事 のらぼう収穫試食（4 月）鯉のぼり、五月人形飾り（4 月～5 月）蚕飼育（5 月～6 月）七夕飾り（6 月～7 月）蚊帳張り（7 月～9 月）十五夜飾り（9 月） ●企画写真展「むかしの橋」（～9.31） ●企画収蔵展「唐箕いろいろ」「昔の教科書」（～9.31） 【URL】 http://www.ohtama.or.jp/akiruno/kyodo.htm			

6 羽村市郷土博物館 ：羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。			
住所	羽村市羽 741	開館時間	4 月～9 月は 9:00～18:00 10 月～3 月は 9:00～17:00
交通	① JR 青梅線「羽村駅」下車徒歩 20 分② コミバス「はむらん」羽村西コース「郷土博物館」下車	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3
電話	042-558-2561	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「くらしを支えた椀倉と膳椀組合」（3.26～5.28）羽村市内に残る膳椀倉の歴史と使われていた道具を展示します。 ●企画展「試掘調査出土遺物展」（6.4～7.2）近年、試掘調査で発掘された遺物を展示します。 ●夏休み企画展「地図－見方・使い方・作り方－」（仮称）（7.16～9.3）毎年恒例の夏休み小中学生を対象とした企画展。羽村市内の地図を使って地図の歴史や見方、身近に作れる地図などを紹介します。 ●企画展「羽村と青梅鉄道」（仮称）（9.10～10.15）青梅鉄道の建設にかかわった羽村の人々と館所蔵の青梅鉄道関係の資料を展示します。 【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html			

7 八王子市郷土資料館 ：八王子の歴史と民俗。車人形や織物の展示もある。			
住所	八王子市上野町 33	開館時間	9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
交通	京王線「京王八王子駅」、JR 中央線「八王子駅」から山田駅経由家政学院行、法政大学行、上大船行バス「市民会館前」下車徒歩 1 分	休館日	月曜日、祝日の翌日（金、土、日曜日が祝日の場合は翌火曜日） 12.29～1.3
電話	042-622-8939	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●新収蔵資料コーナー 平成 17 年度に新たに寄贈していただいた資料を順次展示・公開します。（4.1～3.31） ●特別展 市民の記録した戦後の八王子～淵上明の写真から～ 1 部：「焼け跡からの出発」（8.1～9.10）人々が生きること必死だった敗戦直後、淵上明氏は折にふれ、歴史のひとつコマとしての風景をカメラに収めました。昭和 20 年 8 月 2 日の八王子空襲から約 6～10 ヶ月後の八王子の景観を紹介します。 【URL】 http://homepage3.nifty.com/hachioji-city-museum/index.html			

8 集合住宅歴史館（UR 都市機構都市住宅技術研究所） ：歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。			
住所	八王子市石川町 2683-3	開館時間	13:30～16:30
交通	① JR 中央線「豊田駅」よりタクシー約 10 分② JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分③ JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由 宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分	休館日	土曜日～月曜日、祝日 第 1、第 3 金曜日
電話	042-644-3751	入館料	無料 ※事前予約制
日本住宅公団昭和 30 年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。 ※事前予約制 予め電話かホームページで。 【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/			

9 福生市郷土資料室 ：考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。			
住所	福生市熊川 850-1	開館時間	10:00～17:00
交通	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
電話	042-530-1120	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「新収蔵資料展」（4.16～6.25）寄贈や修繕の完了により、新しく収集した資料を部門別に紹介する。 ●企画展示「平和のための戦争資料展」（7.1～10.1）終戦の時期にあわせて、福生の戦争資料を紹介する。 【URL】 http://www.city.fussa.tokyo.jp/culture/			

10 瑞穂町郷土資料館：瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。

住所	西多摩郡瑞穂町大字石畑 1962	開館時間	9:00～17:00	●「自然観察会」狭山丘陵とその周辺を散策し、動植物や昆虫を観察します。年間4回の実施予定。詳細については、郷土資料館までお問い合わせ下さい。
交通	①JR八高線「箱根ヶ崎駅」東口下車徒歩20分②立川バス、都バス「瑞穂町役場入口」下車徒歩10分	休館日	月曜日、毎月16日(16日が月曜日の場合は17日)、祝日12.29～1.3	
電話	042-568-0634	入館料	無料	【URL】 http://www.town.mizuho.tokyo.jp/

11 武蔵村山市立歴史民俗資料館：武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。

住所	武蔵村山市本町 5-21-1	開館時間	9:00～17:00	●常設展示「丘陵と台地が育む生命のあゆみ」通年 ●季節展「五月の行事」(仮)(4.8～5.7) ●企画展「指田日記に見るむらやまの湯治」(仮)(5.20～6.18) ●歴史講座(7.8) ●夏休みミニ展示「地口行灯」(仮)(7.20～8.31) 【URL】 http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/shiryokan.html
交通	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「村山温泉かたくりの湯」下車徒歩1分	休館日	第1月曜日、第3水曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.3	
電話	042-560-6620	入館料	無料	

12 立川市歴史民俗資料館：立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には草葺きの古民家園も。

住所	立川市富士見町 3-12-34	開館時間	9:00～16:30	「自然と人間のいとなみ」「立川のきのう、きょう、あす」「未来に伝える先人の知恵や知識」を基本テーマに、原始から近・現代の立川の歴史や自然、くらしと道具に関する資料を常設展示。 ●ミニ展示 テーマに沿った資料を約1ヶ月単位で紹介(企画展開催中を除く)①「端午の節句」(4.15～5.7)②「照明具」(5.25～6.30) ●企画展「立川の遺跡2006」(7.25～9.3)ギャラリートーク、ミニ体験コーナー(土曜のみ)も。 【URL】 http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/jp/tachikawa-city/rekishi/02.html
交通	JR中央線「立川駅」南口から①立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車徒歩5分②新道福島行きか富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩5分。JR中央線「立川駅」北口から立川駅南口行きバス「農業試験場前」下車徒歩5分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.4	
電話	042-525-0860	入館料	無料	

13 日野市郷土資料館：日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。

住所	日野市程久保 550	開館時間	9:00～17:00	●郷土資料館まつり(4.29、30)開館記念日の催し、講座など ●企画展「土の中からのメッセージ～近年の発掘調査成果より～」(～5.28)縄文時代から鎌倉時代の考古遺物を紹介 ●企画展「ふるさと日野の歴史 百草特集」(仮)(6.2～9.3) ●企画展「身近な植物と暮らし」(仮)(9.8～11.26) ※平成17年度から「日野市ふるさと博物館」は「日野市郷土資料館」と名称を変更し、所在地を移転しました。 【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/
交通	①多摩モノレール、京王線「高幡不動駅」より百草団地方面行き京王バス「高幡台団地」下車徒歩5分②「高幡不動駅」下車徒歩20分③多摩モノレール「程久保駅」下車徒歩7分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.4	
電話	042-592-0981	入館料	無料	

14 東大和市立郷土博物館：東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。

住所	東大和市奈良橋 1-260-2	開館時間	9:00～17:00	●収蔵資料展 VOL.5「音の民具」(～6.4) ●企画展示「星と民俗」(仮称)(7.1～9.10) ●野草スケッチ展「植物画を描く」(10.21～12.24) ●郷土美術園特別公開(5月) ●プラネタリウム投影 春番組「ガリレオ・ガリレイ」(～6.11)夏番組(6.17～9.10)七夕特別投影(7月)星空さんぽ(生解説) ●観察会 バードウォッチング/野草教室/星空観察会/昼間の星の観察会 など 【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp
交通	①多摩モノレール「上北台駅」からちよこバス外回り「郷土博物館入口」下車徒歩2分②西武拝島線「東大和市駅」から長円寺行きバス「八幡神社」下車徒歩2分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日12.28～1.4	
電話	042-567-4800	入館料	無料(プラネタリウムは有料)	

15 東村山ふるさと歴史館：「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

住所	東村山市諏訪町 1-6-3	開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)	●企画展「初代若松若太夫」(4.25～6.25)明治から昭和にかけて説経節の名を広く世に知らしめた名人の足跡を辿るとともにその名演を再現します。 ●しもやけべはっけんのもり「お誕生日会」2歳(5.20)野焼き、縄文食などさまざまなイベントでお祝いします。 ●臨時休館(7.4～7) ●企画展「人と虫のふしぎなカンケイ」(7.22～9.3)親子で楽しむ昆虫展。 【URL】 http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/
交通	西武新宿、国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩10分	休館日	月曜日12.27～1.5 臨時休館6/28～30、10.4～6	
電話	042-396-3800	入館料	無料	

16 くになち郷土文化館：国立の歴史、ハケの自然などを展示。庭園でコンサートなど。

住所	国立市谷保 6231	開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	「過去・現在・未来を結ぶ—多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち—」をテーマに、常設展示室では国立市の先史時代から戦後の町づくりまでを通史的に展示しています。また、地域に残る伝統行事を市指定文化財の国立市古民家にて行っています。他にも自然や文化にふれる講座、イベントを開催しています。 ●古民家伝統行事体験 五月人形飾り、七夕飾り、うどん作り、カルメ焼き、竹細工教室など●各種体験教室 俳句教室、押し花教室、こども映画会など●米づくり体験事業「我ら稲作人」 ●庭園イベント コンサート、ガレージセールなど 【URL】 http://www.kuzaidan.com/province/index.html
交通	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	
電話	042-576-0211	入館料	無料	

17 たましん歴史・美術館：多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

住所	国立市中1-9-52(たましん国立支店 6階)	開館時間	10:00～18:00	●「たましん COLLECTION—多摩の代表作家—彫刻展」(3.28～7.9) 多摩地域の代表作家を中心とする、たましんコレクションの彫刻作品を展示。 ●「東洋古陶磁展I」(7.25～9.24) たましんコレクションのなかから、日本の古陶磁を展示。 【URL】 http://www.gws.ne.jp/tama-city/art/tamas.html
交通	JR中央線「国立駅」南口 駅前	休館日	月曜日、祝日 年末年始	
電話	042-574-1360	入館料	100円	

18 パルテノン多摩歴史ミュージアム：多摩丘陵の歴史と多摩ニュータウン開発を展示する。

住所	多摩市落合 2-35	開館時間	10:00～18:00	●特別展「多摩の里山～『原風景』イメージを読み解く～」(3.25～5.28) 里山を多角的に検証。 ●共同企画展「大栗川・発掘物語～遺跡の宝庫・大栗川下流域を探る～」(開催中～7.24) 縄文時代前期の面装飾付土器などを展示。 ●ミニ企画展「集まれ!のりもの」(7.28～) ●古文書講座「多摩の信仰と寺社」(5月～12月) 全12回 ●多摩くらし体験クラブ(8月) ●みんなの植物観察会(第2火曜日) 全10回 ●植物観察会ステップアップコース(第4木曜日) 全8回 【URL】 http://www.parthenon.or.jp/museum/
交通	京王相模原線、小田急多摩線、多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分	休館日	不定休(月に2～3日の施設点検日) 12.27～1.3	
電話	042-375-1414	入館料	無料	

19 東京都埋蔵文化財センター：都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」も。

住所	多摩市落合 1-14-2	開館時間	9:30～17:00	●文化財講演会(6.28、8.26、9.20、12.13、1.20、2.17) ●文化財講座(11.7、8、9) ●発掘調査発表会(2.24) ●縄文土器作り教室(7.27、28) ●貝輪教室(9.23) ●編布作り教室(5.27、7.22) ●勾玉作り教室(8.24、25) ●耳飾り作り教室(8.24、25) ●考古学実習(8.19) ●夏休み考古学相談室(7.21～8.31) 【URL】 http://www.tef.or.jp/maibun/
交通	京王相模原線、小田急多摩線、多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分	休館日	12.29～1.3 2.6～10	
電話	042-374-8044	入館料	無料	

20 町田市立博物館：夏には、プラネタリウムがやってくる。

住所	町田市本町田 3562	開館時間	9:00～16:30	●「陶磁のこま犬百面相—愛知県陶磁資料館コレクション」(3.28～5.21) ●講演会「瀬戸・美濃のこま犬」(5.14 14:00～15:30) ●「館蔵 大津絵と幕末・明治の戯画錦絵」(5.30～7.17) ●「プラネタリウム展～み空の花～」(7.25～8.31) 【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/
交通	小田急線、JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩約7分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、展示替え期間中	
電話	042-726-1531	入館料	無料	

21 府中市郷土の森博物館：府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。

住所	府中市南町 6-32	開館時間	9:00～17:00	●プラネタリウム春番組「まぼろしの第10惑星 太陽系の果てを探る!」(～5.28) ●プラネタリウム夏番組「ムーミン谷のオーロラ」(6.3～9.3) ●特別展「あすか時代の古墳～検証!府中発見の上円下方墳～」(4.29～6.25) ●特別展「坂本昇久写真展 オーロラ」(7.22～9.3) ●テーマ展「宮本常一 大國魂神社・くらやみ祭を撮る」(4.1～6.25) ●テーマ展「蔵を開いて見ると 第二章」(7.1～9.24) ●テーマ展「蓮の画帖」(7.8～8.27) ●「郷土の森あじさいまつり」(6月上旬～7月上旬) 約30種、1万株のあじさいが敷地内に花開きます。 【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html
交通	京王線、JR南武線「分倍河原駅」から健康センター行きバス「郷土の森」下車	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	
電話	042-368-7921	入館料	大人200円 4歳～中学生100円	

22 小金井市文化財センター：小説『次郎物語』の舞台上、小金井の歴史と文化をたどる。

住所	小金井市緑町 3-2-37	開館時間	9:00～16:30	当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』第五部の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●季節展「玉川上水と小金井桜」(4.1～5.7)
交通	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	
電話	042-383-1198	入館料	無料	

【URL】 <http://www.city.koganei.lg.jp/index.html>

23 江戸東京たてもの園：江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。

住所	小金井市桜町 3-7-1	開館時間	9:30～17:30 (10月～3月は16:30まで、入園は17:00まで)	●特別展「できゆくタワーの足もとでー昭和30年代の暮らし」(～9.3)舞台は東京タワーの建設が進む昭和30年代の初め。人と人、人と物が優しく支え合っていた戦後家庭生活の一場面を再現しています。 ●子どもの日イベント(5.4、5) ●第4回小金井公園・たてもの園桜写真展(5.16～28) ●七夕折り紙教室(6.24、25) ●朝顔市・ほおずき市(7.8、9) ●夜間開園「下町夕涼み」(7.29、30) ●乗り物体験イベント(9.17、18)
交通	①JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス7分「小金井公園西口」下車徒歩5分②西武新宿線「花小金井駅」南口「南花小金井」から「小金井公園西口」下車徒歩5分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	
電話	042-388-3300	入館料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	

【URL】 <http://www.tatemonoen.jp/>

24 東京農工大学工学部附属繊維博物館：繊維の歴史や最新の技術を紹介する。

住所	小金井市中町 2-24-16	開館時間	10:00～17:00 (入館は16:00まで)	●第66回特別展「浮世絵展ーかいこが恵むシルクの輝きー」(4.26～30)繊維博物館が所蔵する、歌麿など著名絵師が描いた養蚕・製糸・機織をテーマにした錦絵100点以上を展示する。その他シルク関連資料の展示およびシルクに関する講演会を開催。
交通	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分	休館日	日、月曜日、祝日 5.31 8.1～20 12.26～1.10	
電話	042-388-7163	入館料	一般240円 小～大生120円	

【URL】 <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>

25 清瀬市郷土博物館：清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

住所	清瀬市上清戸 2-6-41	開館時間	9:00～17:00	●企画展「染める・織る・縫う」(6月下旬～7月上旬頃を予定)当館の染物教室・はたおり教室・和裁教室の参加者と講師・活動グループの皆さんの作品を展示します。 ●先人の知恵に学ぶ「体験はたおり」(4月～7月の毎日曜・祝日、受付時間は午前10時～午後2時30分)高機(たかはた)を使って裂き織りを体験します(長さ15～20cm程度)。なお、他事業の関係で実施しない日もありますので詳細はお問合せください。
交通	西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	
電話	0424-93-8585	入館料	無料	

【URL】 <http://www.city.kiyose.tokyo.jp/>

26 多摩六都科学館：世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室を持つ、参加体験型の科学館。

住所	西東京市芝久保町 5-10-64	開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	●「たまるく鉄道展 出発進行!! =電車と一緒にたらく人たち」(～5.14)皆の憧れの職業である運転士・車掌など鉄道に関わる人たちの仕事について楽しく紹介します。貴重な写真や資料、今ではなかなか見ることの出来ないお宝グッズも展示します。「鉄道Q&Aコーナー」「オリジナル電車を作ろう!」等どなたにも楽しく参加していただける内容が盛りだくさん!今企画展限定の鉄道クイズQ&A、鉄道のおはなし会、車両基地見学会など特別イベントも要チェックです!!
交通	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分②西武新宿線「田無駅」北口よりコミュニティバス(はなバス)多摩六都科学館方面行き	休館日	月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、12.28～1.3 ※保守点検のための臨時休館日あり	
電話	0424-69-6100	入館料	展示室券: 大人500円、 子供200円(4歳以上18歳未満)	

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

27 調布市郷土博物館：原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

住所	調布市小島町 3-26-2	開館時間	9:00～16:00	●郷土学習展蔵品展「住まいの道具あれこれー昭和編」(1.15～5.21)昭和期の暮らしの道具を展示。 ●「ワールドカップキャンプ地資料展(仮)」(6月～7月)2002年サッカーワールドカップでサウディアラビア代表チームのキャンプ地だった調布市でその関連資料を展示し、当時をふりかえる。 ●平和の礎展2006(8.4～15)地図と航空写真にみる空襲。
交通	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩5分	休館日	月曜日、祝日 12.29～1.3	
電話	0424-81-7656(4月29日以降は042-481-7656)	入館料	無料	

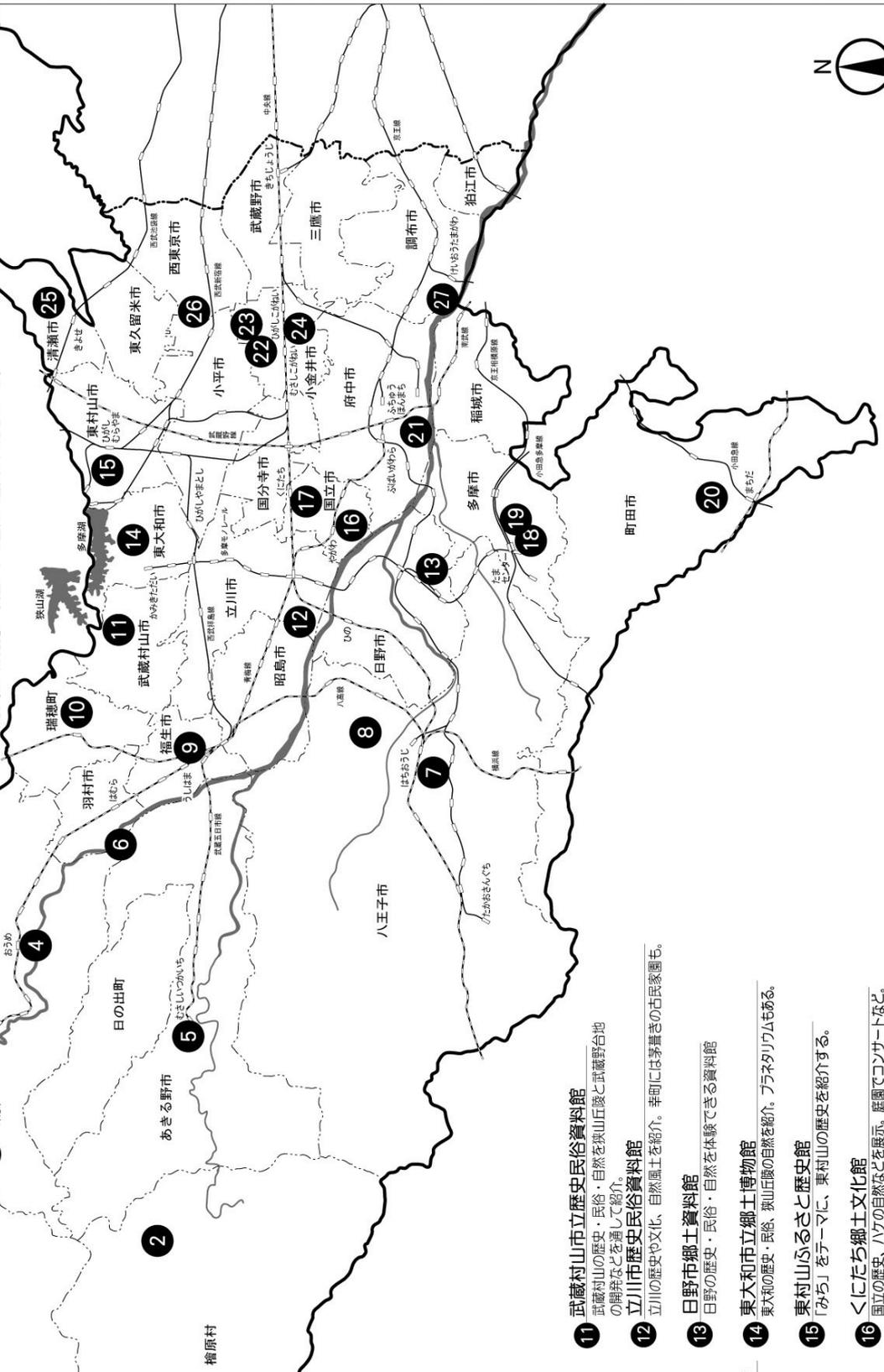
【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp>

出かけてみよう!

多摩の博物館

MAP

- 17 たましん歴史・美術館
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。
- 18 パルテノン多摩歴史ミュージアム
多摩丘陵の歴史と多摩ニュータウン開発を展示する。
- 19 東京都埋蔵文化財センター
都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」も。
- 20 町田市立博物館
夏には、プラネタリウムがやってくる。
- 21 府中市郷土の森博物館
府中の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。
- 22 小金井市文化財センター
小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。
- 23 江戸東京たてもの園
江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。
- 24 東京農工大学工学部附属繊維博物館
繊維の歴史や最新の技術を紹介する。
- 25 清瀬市郷土博物館
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
- 26 多摩六都科学館
世界最大級のドームと5つの展示室を持つ、参加体験型の科学館
- 27 調布市郷土博物館
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。



- 1 奥多摩水と緑のふれあい館
水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
- 2 檜原村郷土資料館
数代の民家や、稲藪の歴史・民俗・自然を展示。
- 3 御岳美術館
明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。
- 4 青梅市郷土博物館
青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。
- 5 あきる野市五日子郷土館
五日子の歴史・民俗・自然。五日子憲法関係資料も。
- 6 羽村市郷土博物館
羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料と展示
- 7 八王子市郷土資料館
八王子の歴史と民俗。軍人形や織物の展示もある。
- 8 集合住宅歴史館（都市再生機構研究所内）
歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。
- 9 福生市郷土資料室
考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。
- 10 瑞穂町郷土資料館
瑞穂の歴史と民俗を展示。田舎裏道の再現も。
- 11 武蔵村山市立歴史民俗資料館
武蔵村山の歴史・民俗・自然を奥山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。
- 12 立川市歴史民俗資料館
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家園も。
- 13 日野市郷土資料館
日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館
- 14 東大和市立郷土博物館
東大和の歴史・民俗、奥山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。
- 15 東村山ふるさと歴史館
「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。
- 16 くにたち郷土文化館
国立の歴史、ハケの自然などを展示。庭園でコンサートなど。